



公認ジュニアスポーツ指導員 現代の子どもたちの課題とジュニアスポーツ指導員

ジュニアスポーツ指導員の役割の一つである、子どもたちが遊びを通じて、楽しみながら身体を動かすプログラムを提供することは、子どもの体力低下や運動の二極化が取り沙汰されている現代において、非常に重要となっています。

子どもたちに発育・発達段階に沿った「基本的動作」を習得させることは、スポーツスキルの上達や将来的な競技能力の向上に影響するのみならず、ケガの予防にもつながります。

ぜひジュニアスポーツ指導員の専門的な知識・技術を取得し、多くの子どもたちが所属する総合型クラブでのスポーツ指導に役立ててみてはいかがでしょうか。

【受講条件】 受講年度の4月1日現在で満20歳以上の者

【受講内容】

共通科目35時間 [共通 I：通信講座(自宅学習)]

専門科目40時間 [集合講習会 全国2会場(埼玉・滋賀)で前期3日間、後期2日間の2回に分けて開催]

[埼玉] 前期：平成27年10月9日(金)～10月11日(日)

後期：平成27年11月21日(土)～11月22日(日)

[滋賀] 前期：平成27年10月16日(金)～10月18日(日)

後期：平成27年12月5日(土)～12月6日(日)

こんな内容を学べます！

- 大人のスポーツと子どものスポーツの違い
- 移動系(走る・跳ぶ等)・平衡系(転がる・よじ登る等)・操作系(投げる・つかむ等)の運動スキル
- 運動遊びやゲームの種類、スポーツ種目特有のスキル(サッカー・水泳・ダンス等)

▶ 詳細は[コチラ](#)をクリック！

【申込期間】 平成27年6月1日(月)～6月30日(火)【予定】

【申込方法】 後日下記URLに掲載

【受講料】 共通科目：21,600円／専門科目：21,600円

【その他】 右記URL参照 <http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/214/Default.aspx>



公認スポーツプログラマー 総合型クラブにおけるスポーツプログラマーの役割

総合型クラブでは、子どもから高齢者、障がい者まで、さまざまな方々がスポーツを楽しんでいます。そのため、適切なスポーツ指導を行うためには、各々の目的や年齢、能力などに応じたさまざまな知識を取得し、安全に留意して効果的に指導を行うことが重要です。それらの知識を学ぶ資格として、**公認スポーツプログラマー資格**があります。

ぜひスポーツプログラマーの専門的な知識・技術を取得し、スポーツを楽しむ多くの方々への指導に役立ててみてはいかがでしょうか。

【受講条件】

受講年度の4月1日現在で満20歳以上の者

【受講内容】

共通科目Ⅰ・Ⅱ 70時間

[集合講習] 全国2会場(東京・大阪)・平成27年8月7日(金)～8月9日(日)・16時間 [自宅学習] 54時間

専門科目 63時間

[集合講習(東京)] 前期：平成27年9月15日(火)～9月18日(金)／後期：平成28年1月25日(月)～1月29日(金)

こんな内容を学べます！

- 体操・エアロビクス・水泳・レクリエーション等のヘルス・エクササイズ
- 体調チェックや安全管理(ウォーミングアップ・クーリングダウン)
- 子ども、女性、高齢者、障がい者のフィットネスプログラム

▶ 詳細は[コチラ](#)をクリック！

【申込期間】

平成27年4月20日(月)～6月5日(金)

【申込方法】

後日下記URLに掲載

【受講料】

共通科目：21,600円(共通科目Ⅰ免除者は17,280円、共通科目全免除者は不要)

専門科目：54,000円(健康運動指導士有資格者は25,700円)

【その他】

右記URL参照 <http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid/215/Default.aspx>